

Safety Report

セーフティポ 若者

埼玉県が「高校生の自動二輪車等の交通安全講習」を
継続して推進

高校生の二輪車利用を禁止する「三ない運動」（バイクの免許を取らない・バイクに乗らない・バイクを買わない）を廃止した埼玉県教育委員会（以下、埼玉県教委）は、2019年4月から「高校生の自動二輪車等の交通安全に関する指導要項」を施行。これに合わせて、運転の実技を含む二輪車の交通安全教育に取り組んでいる。自動二輪や原付の運転免許を取得した生徒を対象に「高校生の自動二輪車等の交通安全講習（以下、講習）」として、2019年度に引き続き2020年度も県内各地の自動車教習所で全6回実施した。

講習は実技講習、講義、救急救命法で構成されている。

実技講習は、二輪車安全運転推進委員会に認定された二輪車安全運転指導員と埼玉県警察本部交通機動隊の白バイ隊員が担当。日常点検の項目と安全運転の基本となる乗車姿勢を確認した後、生徒が自分のバイクを運転し、ブレーキングやバランス、コーナリングなどの実技課題に取り組む。コーナリングでは、90度のカーブを30km/hと35km/hで通過。カーブの路面に表示された二本の白線の間を通らなければならないが、5km/h速度を上げただけで、白線の外側にふくらんでしまう。こうした体験によって、カーブには限界速度があることを知り、安全なコーナリング方法を習得する。また、自分のバイクで参加できない（免許取得のみでバイクに乗っていないケースなど）生徒は実技の代替となる座学講習を受講した。

実技講習が終わると講義となる。埼玉県警察本部の警察官が高校生の交通事故の状況や二輪車事故の特徴、事故に遭った時の対応について説明。運転中は常に危険を予測しておくことや、自分から危険に近づかな

い「心のブレーキ」が重要であることを伝えた。最後は、教習指導員による救急救命法の講習。交通事故などの負傷者を見つけた時に必要な心肺蘇生（胸骨圧迫・人工呼吸）やAEDの使用について、生徒たちは体験を通じて学んだ。

自動二輪免許を取得した1週間後に受講したという高校2年生は「コーナリングの課題が印象に残っています。速度がたった5km/h違うだけでもバイクの挙動に変化が現れることを体験して、カーブの手前で減速することの重要性が理解できました」と話す。休日にツーリングを楽しむために自動二輪免許を取得したという高校3年生は「バイクは低速になればなるほどバランスをとることが難しくなりました。ツーリングに出かける時は、事故を起こさないように『心のブレーキ』を意識して運転したいと思います」と感想を語った。

埼玉県教委によれば、県内高校生の自動二輪・原付乗車中の交通事故死傷者数は2018年の56人から2019年は47人と減少している。この講習を通じた交通安全教育は、高校生の二輪車事故防止に一定の役割を果たしているといえるだろうと語った。

「高校生の自動二輪車等の交通安全講習」は
以下の団体が共催・後援

（一社）埼玉県指定自動車教習所協会
埼玉県警察本部
（一財）埼玉県交通安全協会
埼玉県二輪車普及安全協会
埼玉県高等学校安全教育研究会
埼玉県交通安全対策協議会



白バイ隊員が日常点検のポイントや正しい乗車姿勢を説明



実技を始める前に、ヘルメットのおごひもは指一本入る程度に締めるよう生徒に指導



パイロンの間を低速で通り抜ける課題などを通じてバランスのとり方を身につける



コーナリングでは安全なカーブの曲がり方を習得



二輪車安全運転指導員が生徒の運転を観察してアドバイス



講義では危険予測トレーニングなどが行われた



AEDの使い方や心肺蘇生（胸骨圧迫）の方法を体験

Safety Info.

インフォメーション①

第50回全国白バイ安全運転競技大会開催
全国の白バイ隊員が安全運転技術を競う

Hondaは大会の審判業務や車両整備などに協力

昨年10月10日、11日、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）にて第50回全国白バイ安全運転競技大会（主催：警察庁）が開催された。この大会は、全国の白バイ隊員の安全運転技術の向上、士気の高揚及び隊員相互の融和団結を図ることを目的として、1969年より開催されている。例年は一般公開している同大会だが、今回は50年という節目



不整地走行操縦競技

の開催ながらも、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客で行われた。今大会には47都道府県警察及び皇宮警察から、女性隊員41名を含む193名の選手が参加。バランス走行操縦競技、トライアル走行操縦競技、不整地走行操縦競技、傾斜走行操縦（スラローム）競技の計4種目によって熱戦が繰り広げられた。



傾斜走行操縦（スラローム）競技（男性の部）

主な結果は以下の通り。

●団体の部
（第1部・9都府県警察）
優勝／警視庁
第2位／福岡県
第3位／神奈川県
（第2部・38道府県警察・皇宮警察）
優勝／新潟県
第2位／高知県
第3位／北海道
●個人競技の部
（男性の部）優勝／藤木雄也（新潟県）
（女性の部）優勝／岩出志帆（愛知県）



傾斜走行操縦（スラローム）競技（女性の部）